あなたが飲むおくすりは

グリメピリド錠「日新」です

グリメピリド錠「日新」は、すい臓にはたらきかけてインスリンの分泌を促し、血糖*を下げるおくすりです。

グリメピリド錠 0.5mg「日新」	グリメピリド錠 1mg「日新」	グリメピリド錠 3mg「日新」
＜表 面＞	＜表 面＞	＜表 面＞
＜裏 面＞	＜裏 面＞	＜裏 面＞

＊ヘモグロビンA1c(HbA1c)、食後血糖、空腹時血糖

おくすりの飲み方と量

あなたの症状などにあわせて、お医者さんが決めます。通常、1日0.5～1mgより開始し、1日1～2回朝または朝夕、食前または食後に服用します。維持量は通常1日1～4mgで、必要に応じて適宜増減し、1日最高投与量は6mgまで処方されます。

日新製薬株式会社

おくすり（グリメピリド錠「日新」）を飲む時に注意すること

●コップ１杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。
●自分の判断でおくすりを中止したり、おくすりを変更したりすると病気が悪くなることがあります。
●指示された時間に飲むのを忘れてしまったら、１回とばして次の指示された時間から飲んでください。
●決して２回分を一度に飲まないでください。（低血糖症を起こすことがあります。）
●お医者さんまたは薬剤師の先生の指示通りに飲んでください。
●誤って多く飲んだときには、お医者さんまたは薬剤師の先生に相談してください。
●発熱、下痢、嘔吐（おうと）があり、または食欲がないため食事ができないときは、お医者さんに連絡して指示を受けましょう。

低血糖の対処法

●だるさ、強い空腹感（くうふくかん）、冷や汗、動悸（どうき）（胸がドキドキする）、手足のふるえ、意識（いしき）が薄（うす）れる、などの症状があらわれることがあります。その場合はすぐに砂糖あるいはブドウ糖を摂取し、意識が薄れてきた場合はただちにお医者さんに連絡してください。
●α－グルコシダーゼ阻害剤（ベイスン、グルコバイ、セイブルなど）と併用をしているときに低血糖症状が認められた場合にはブドウ糖をとりましょう。

保護者の方へ

小さなお子様の場合には低血糖の症状が分からずに、自分で対処できないことがあるため、「低血糖かな?」と思う症状があらわれたときには砂糖やブドウ糖を摂取させ、よくならないときは主治医にみてもらうようにしてください。

35601SB
2012年12月改訂